

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成26年11月13日(2014.11.13)

【公表番号】特表2013-543618(P2013-543618A)  
 【公表日】平成25年12月5日(2013.12.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-065  
 【出願番号】特願2013-531785(P2013-531785)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)  
 G 0 6 F 3/0488 (2013.01)  
 G 0 6 F 3/041 (2006.01)  
 H 0 4 M 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/048 6 5 5 A  
 G 0 6 F 3/048 6 2 0  
 G 0 6 F 3/041 3 3 0 C  
 G 0 6 F 3/041 3 8 0 C  
 H 0 4 M 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ジェスチャ捕捉領域及びタッチセンサ式ディスプレイのうちの少なくとも1つによってジェスチャを検出すること、

前記ジェスチャを検出することに応答して、プロセッサが実行可能なミドルウェアによって、通信デバイスの第1のタッチセンサ式ディスプレイ上に表示された第1の画像を、前記通信デバイスの前記第1のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた第1のスタックにおける第1の位置から、前記通信デバイスの第2のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた第2のスタックにおける第1の位置に移動させること、

前記通信デバイスの前記第1のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第1のスタックにおける前記第1の位置に第2の画像を移動させること、

前記通信デバイスの前記第1のタッチセンサ式ディスプレイ上に前記第2の画像を表示すること、

前記通信デバイスの前記第2のタッチセンサ式ディスプレイ上に前記第1の画像を表示すること、

前記ジェスチャが継続していると判定すること、

前記ジェスチャが継続していると判定することに  
 応答して、前記通信デバイスの前記第1のタッチセンサ式ディスプレイ上に表示された前記第2の画像を、前記通信デバイスの前記第1のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第1のスタックにおける前記第1の位置から前記通信デバイスの前記第2のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第2のスタックにおける第2の位置に移動させること、

を備え、表示された前記第1及び第2の画像がデスクトップ及びウィンドウのうちの少なくとも1つである、方法。

## 【請求項 2】

表示された前記第 1 及び第 2 の画像がウィンドウであり、前記ジェスチャがドラッグジェスチャであり、前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第 2 のスタックにおける前記第 2 の位置の画像が前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに表示されない、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 3】

前記ジェスチャを行う前における前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第 1 のスタックにおける前記第 1 及び第 2 の画像の位置が、前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに移動した後の前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第 2 のスタックにおける前記第 1 及び第 2 の画像の位置と同じである、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 4】

前記ジェスチャが共通のジェスチャ捕捉領域によって受信され、前記ジェスチャ捕捉領域は画像を表示不可である、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 5】

前記ウィンドウの相対的な順序が移動の前後で同じである、請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 6】

前記通信デバイスの前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイ上に前記第 1 の画像が表示されている間に前記通信デバイスの前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイ上に第 3 の画像を表示することを更に備える請求項 1 に記載の方法。

## 【請求項 7】

請求項 1 に記載の処理を実行するように動作可能なプロセッサ実行可能命令を備えた不揮発性のコンピュータ可読媒体。

## 【請求項 8】

デュアルディスプレイの通信デバイスであって、  
ジェスチャを受信するためのジェスチャ捕捉領域と、  
ジェスチャを受信するため、及び画像を表示するための第 1 のタッチセンサ式ディスプレイであって、前記表示された画像がアプリケーションのデスクトップ及びウィンドウのうち少なくとも 1 つである、第 1 のタッチセンサ式ディスプレイと、  
前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた第 1 のスタックと、  
ジェスチャを受信するため、及び画像を表示するための第 2 のタッチセンサ式ディスプレイと、  
前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた第 2 のスタックと、  
以下に記載する動作を実行するように動作可能なミドルウェアと、  
を備え、当該動作が、  
前記ジェスチャ捕捉領域及びタッチセンサ式ディスプレイのうち少なくとも 1 つによってジェスチャを検出すること、  
前記ジェスチャを検出することに対応して、前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイ上に表示された第 1 の画像を前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第 2 のスタックの第 1 の位置に移動させること、  
前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイ上に前記第 1 の画像を表示すること、  
前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第 1 のスタックの第 1 の位置に第 2 の画像を移動させること、  
前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイ上に前記第 2 の画像を表示すること、  
前記第 1 の画像が前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第 2 のスタックの前記第 1 の位置に正常に移動した後、前記ジェスチャが継続していると判定すること、  
前記ジェスチャが継続していると判定することに対応して、前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイ上に表示された前記第 2 の画像を前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに関連付けられた前記第 2 のスタックの第 2 の位置に移動させること、

を含み、前記第 1 及び第 2 の画像がデスクトップ及びウィンドウのうちの少なくとも 1 つであり、前記第 1 の画像が前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイ上に表示される、通信デバイス。

【請求項 9】

表示された前記第 1 及び第 2 の画像がウィンドウであり、前記ジェスチャがドラッグジェスチャである、請求項 8 に記載の通信デバイス。

【請求項 10】

前記ジェスチャを行う前における前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイの前記第 1 及び第 2 の画像のスタック位置が、前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイに移動した後の前記第 1 及び第 2 の画像のスタック位置と同じである、請求項 8 に記載の通信デバイス。

【請求項 11】

前記ジェスチャが共通のジェスチャ捕捉領域によって受信され、前記ジェスチャ捕捉領域は画像を表示不可である、請求項 8 に記載の通信デバイス。

【請求項 12】

前記通信デバイスの前記第 2 のタッチセンサ式ディスプレイ上に前記第 1 の画像が表示されている間に前記通信デバイスの前記第 1 のタッチセンサ式ディスプレイ上に第 3 の画像が表示される、請求項 8 に記載の通信デバイス。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】タッチセンサ式ディスプレイに画像を表示する方法及び通信デバイスならびにコンピュータ可読媒体